

2021年2月26日

各位

大阪事業所における発電設備の廃止について

当社（社長：大田 勝幸）は、大阪事業所（所長：黒木 修、大阪府高石市）のアスファルト発電設備を2021年10月目途に廃止することを決定しましたので、お知らせいたします。

大阪事業所の発電設備は、製油所の重油留分を燃料として電気を生み出すことで、当社グループ内における重油留分処理および当社電気事業に有効活用してまいりましたが、今般、重質油の需給環境および電力市場動向の変化を踏まえて最適な事業体制を検討した結果、同事業所の発電設備を廃止することが当社の競争力向上に資するとの結論に至りました。

当社は、電気事業を次世代の事業の柱と位置づけており、今後も再生可能エネルギーをはじめ、新規電源の拡大を進めるとともに、最適な電源ポートフォリオを構築し、電気事業におけるサプライチェーン全体の競争力強化を図ってまいります。

以上

<大阪事業所の概要>

所在地	:	大阪府高石市高砂二丁目1番地
操業開始	:	1971年（昭和46年）
所長	:	黒木 修
従業員	:	159名（2021年2月1日現在）
敷地面積	:	129万m ²
発電燃料	:	アスファルト
発電能力	:	13万KW（自家使用除く）